

「OECD国際共同研究プログラム」について (フェローシップ及びカンファレンス開催への支援)

1. 事業の概要

OECD（経済協力開発機構）では加盟国間の農林水産研究交流の促進を目的とした「国際共同研究プログラム」事業を1979年から実施しており、我が国も1990年から分担金を拠出して参加しています（現在OECD加盟国のうち24ヶ国が参加）。

本プログラムでは、プログラム参加国での短期在外研究（以下、フェローシップ）や国際会議／ワークショップ／シンポジウム等（以下、カンファレンス）の開催への支援を行っており、応募・採択後は、フェローシップに要する旅費・滞在費、カンファレンス開催資金の一部（講演者の招へい費）が支給されます。

2018年実施案件の研究テーマは次の3つとなっています。フェローシップ及びカンファレンスの応募者は、下記3テーマの中から該当する1つを選んで応募することとなります。

テーマ1 : Managing Natural Capital for the Future

テーマ2 : Managing Risks in a Connected World

テーマ3 : Transformational Technologies and Innovation

(参考) プログラム参加国 (24カ国)

オーストラリア、オーストリア、ベルギー、カナダ、チリ、チェコ共和国、デンマーク、エストニア、フィンランド、ドイツ、ハンガリー、アイルランド、イタリア、日本、大韓民国、オランダ、ニュージーランド、ノルウェー、スロヴァキア、スペイン、スウェーデン、スイス、イギリス、アメリカ合衆国

2. これまでの実績

(1) フェローシップ

表1 全体の応募者数及び採択者数（直近5年間）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
応募者数	61人	69人	70人	62人	60人
採択者数	25人	31人	27人	28人	30人
採択率	41%	45%	39%	45%	50%

(2) カンファレンス

表1 全体の応募数及び採択数（直近5年間）

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年
応募者数	22件	27件	25件	26件	22件
採択者数	9件	7件	9件	8件	8件
採択率	41%	26%	36%	31%	36%

表2 日本開催のカンファレンス（2011年～）

● International Symposium on Frontier in Agriculture Proteome Research: contribution of proteome technology in agricultural science（2011年11月：（独）作物研究所）
● Plant and Microbe Adaptations to the Cold (PMAC) 2012: Toward risk assessment and management of sustainable agriculture in the cool and cold regions（2012年6月：（独）北海道農業研究センター）
● 12th International Wheat Genetics Symposium（2013年9月：横浜市立大学）
● Sustainable Management including the use of Traditional Knowledge in Satoyama and Other SELPs（2014年4月：金沢大学）
● Updated Diagnosis and Epidemiology of Animal Prion Diseases for Food Safety and Security（2016年5月：（国研）農研機構 動物衛生研究所）
● Global Goals - new approaches to knowledge generation: challenges and solutions from local to global scales（2017年8月予定：東京大学（スウェーデンで開催））
● International symposium on food credence attributes: How can we design policies to meet consumer demand?（2017年5月予定：大阪大学、青山学院大学）

3. 支援内容

(1) フェローシップ

ア 派遣期間：6～26週

イ 派遣開始時期：2018年3月1日から12月15日までに出発すること（事務手続きは11月1日までに終了させること）

ウ 資格：博士号取得者又は相当の専門知識をもつ者で、原則として研究機関・大学等に常勤として所属する者。（年齢制限無し）

エ 支給経費：●往復旅費（居住地から受入研究機関までの1往復分の旅費（エコノミー航空券（APEX等）に基づいて算出）

●滞在費（宿泊費・食費・通勤費として400～450ユーロ相当/週、都市により異なる）

●荷役料金（165ユーロ）

●ベンチフィー（研究機材・施設の使用料など）は支給されない（生命保険や健康保険、通勤にかかる費用、家族の旅費、パスポートやビザ取得にかかる費用等も支給されない）

オ 派遣先 : プログラム参加国にある任意の研究機関。応募申請を行う前に事前に受入先機関に各自で申し込みを行い、相手方の受入れ意思を示す招へい状を入手する必要がある。

(2) カンファレンス

ア 支援対象 : 単独のカンファレンスや、国際学会の一部のセッション。

2018 年中に開催するもの。

イ 支給経費 : ●招へいする講演者の交通費、宿泊費、参加費。(OECD の規程に基づいて算出される)

ただし、本プログラム参加国の国籍を有している者、または参加国に居住している者のみ対象。

●プロシーディングス発行の分担金 (3,050 ユーロ、プロシーディングスは OECD 事務局へ 60 部と各講演者に 1 部ずつ送付する必要がある)

●会場レンタル費、会食費などは支給されない

ウ その他 : カンファレンスには OECD 国際共同研究プログラム事務局職員等が参加し、議事次第の中で本プログラムを紹介する機会を設けることが求められる。

4. 応募の手順



【オンライン申請及び募集要項】

OECD 事務局ホームページアドレス

<http://www.oecd.org/tad/crp/crp-research-fellowships-and-conference-sponsorship.htm>

***日本の相談窓口（フェローシップ）**

申請書の作成にあたっての留意点や、採択のポイントなどのアドバイスを行う。申請に当たり、必ずしも相談が必要ではないが、相談することが望ましい。

（国研）農業・食品産業技術総合研究機構 本部 企画調整部 国際室

室長 永井 卓

住所 〒305-8517 つくば市観音台 3-1-1

電話 029-838-6747（直通）

メールアドレス nagait761@affrc.go.jp

***日本の相談窓口（カンファレンス）**

申請書の作成にあたっての留意点や、採択のポイントなどのアドバイスを行う。申請に当たり、必ずしも相談が必要ではないが、相談することが望ましい。

（国研）水産研究・教育機構 中央水産研究所 所長 中山一郎

住所 〒236-8648 横浜市金沢区福浦 2-12-4

電話 045-788-7600（直通）

メールアドレス nakayama@affrc.go.jp

****Scientific Advisory Body (テーマコーディネーター)**

OECD に任命された研究者であり、申請書の確認およびカンファレンスの議事プログラム準備の支援を行ってくれる。3つのテーマ毎にコーディネーターがいる (以下)。申請に当たり、必ず相談が必要。

Theme 1 Managing Natural Capital for the Future

Dr. Vangimalla REDDY, Research Leader

USDA/ARS Crop Systems and Global Change Laboratory, United States

E-mail: vangimalla.reddy@ars.usda.gov Tel: +1 301 504 5806

Dr. Ichiro NAKAYAMA, Director-General

National Research Institute of Fisheries Science (NRIFIS)

Fisheries Research Agency (FRA), Japan

E-mail: nakayama@affrc.go.jp Tel: +81 45 788 7615

Theme 2 Managing Risks in a Connected World

Dr. Gary FITT, Director

CSIRO Biosecurity Flagship, Australia

E-mail: gary.fitt@csiro.au Tel: +61 2 (0)7 3833 5665

Dr. András SZÉKÁCS

Research Institute of Agro-Environmental Sciences, National Agricultural Research and Innovation Centre, Hungary

E-mail: a.szekacs@cfri.hu Tel: +36 1 355 8991

Theme 3 Transformational Technologies and Innovation

Dr. Primal SILVA

Chief Science Operating Officer,

Science Branch, Canadian Food Inspection Agency, Canada

E-mail: primal.silva@inspection.gc.ca Tel: +1 613 773 5283

Dr. Rafael BLASCO

Department of Biotechnology, INIA, Ministry of Science and Innovation, Spain

E-mail: blasco@inia.es Tel: +34 91 347 3913